

平成22年度 シラバス	学年・期間・区分	5年次・前期・B群
	対象学科・専攻	情報工学科
システム工学特論 (System Engineering Topics)	担当教員	新徳 健 (Shintoku, Takeshi)
	教員室	情報工学科棟4階 (tel.42-9093)
	E-Mail	sintoku@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義 / 学修単位[講義] / 1単位	
週あたりの学習時間と回数	〔授業(100分) + 自学自習(80分)〕 × 15回	
〔本科目の目標〕 ヒューマンインタフェースの考え方の基礎について理解する。ヒューマンインタフェースは人と機器、あるいは情報機器を介した人と人との関わりを支援する技術に関する学問である。		
〔本科目の位置付け〕 ヒューマンインタフェースは工学だけでなく、その他の広い分野に関連のある学問である。柔軟な発想力を持って臨むことが必要とされる。		
〔学習上の留意点〕 講義の内容をよく理解するために、毎回、配布プリント等を参考に、80分以上の自学自習が必要である。疑問点があれば、その都度質問すること。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時 限 数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1. ヒューマンインタフェースの概要	2	ヒューマンインタフェースの原理と定義について説明できる
2. 人間の特性	8	人の身体特性、生理特性、認知特性と感性について説明できる
3. ヒューマンエラー	2	ヒューマンエラーとエラー解析について説明できる
4. 入出力インタフェース	6	入出力機器とのインタラクションについて説明できる
--- 前期中間試験 ---	2	授業項目 1~3 について達成度を確認する
5. インタラクションスタイル	4	インタラクションのスタイルとその特徴について説明できる
6. インタフェースのデザインと評価	4	インタフェースのデザインの指針、デザイン手法、評価手法について説明できる
7. グループインタラクション	2	グループウェアの概念とモデル化について説明できる
--- 前期期末試験 ---		授業項目 1~7 について達成度を確認する
試験答案の返却・解説		各試験において間違った部分を理解出来る
〔教科書〕なし		
〔参考書・補助教材〕必要な時は、その都度担当教員が準備し、配布する。		
〔成績評価の基準〕中間試験および期末試験成績(80%) + 提出物(20%) - 授業態度(40%)		
〔本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕3-c 〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕3-3 〔JABEEとの関連〕(d)(2)a		